

平成 29 年度 地理歴史・公民科初任者研修会 報告書

報告者	勝俣 健 (御殿場西高等学校)	
実施日時	平成 29 年 11 月 7 日 (火) 12 : 50 ~ 16 : 30 (受付 12 : 30 ~ 12 : 50)	
研修会場	静岡聖光学院中学校・高等学校 〒422-8021 静岡市駿河区小鹿 1440 番地 TEL 054-285-9136 / FAX 054-283-8668	
参加者	社会科および地歴・公民科新任教員 (1~5 年目) と 社会科および地歴・公民科関係教員	計 29 名
指導講師	山本 哲示 様 (飛龍高等学校 副教頭)	
日 程	12 : 30 ~ 12 : 50 受付 (会議室) 12 : 54 ~ 13 : 07 開会式 (同上) 会場校校長挨拶 岡村 壽夫先生 (静岡聖光学院中学校・高等学校校長) (代理 杉森教頭) 部会長挨拶 菊池 基先生 (御殿場西高等学校校長) 13 : 20 ~ 14 : 10 研究授業① 伊藤 大介先生 中学社会地理「海洋国家としての日本の特徴」 (中学 1 年 B 組教室にて) 14 : 20 ~ 15 : 10 研究授業② 平本 直之先生 中学社会歴史「応仁の乱と戦国大名」 (中学 2 年 C 組教室にて) 15 : 28 ~ 16 : 42 反省会 (会議室) 講評 (指導講師より) 閉会式	

反省会での意見

授業担当者から

伊藤先生

- ・あえて領土問題を取り上げた
- ・情報機器（surface）を使用することにチャレンジした
- ・新聞記事を使用し、話題になるものを取り扱うことによって、生徒に作業をさせ話し合いをしたかった
- ・時間設定は詰まり感があったが、生徒の様子を見ながらどのように時間を切っていくのかを意識した。

平本先生

- ・本時の狙いを生徒たちに考えて欲しくて、活動を重視した
- ・ある選択に対して、自分たちでどう乗り越えるのかを考えさせたかった

グループによる意見交換と発表がされた

講評 指導講師 山本 哲示 先生

伊藤先生

- ・机間巡視も的確で、内容も分かりやすく、導入と整理でより明確になった
- ・北方領土に関して、勇気を持って授業をしなければならない。取り扱いが難しいが我が国と相手国との主張の比較がしっかりしていて良かった。
- ・外務省 HP を生徒に見せるのも良かった
- ・2月7日の意味を教えた方が良かった（北方領土の日 = 日露和親条約の締結日）
- ・“北方領土に日本人は住んでいるのか”の発問に関して、昔は住んでいたことを伝えて欲しい

平本先生

- ・先生と生徒の距離感が近く、慕われていると感じた